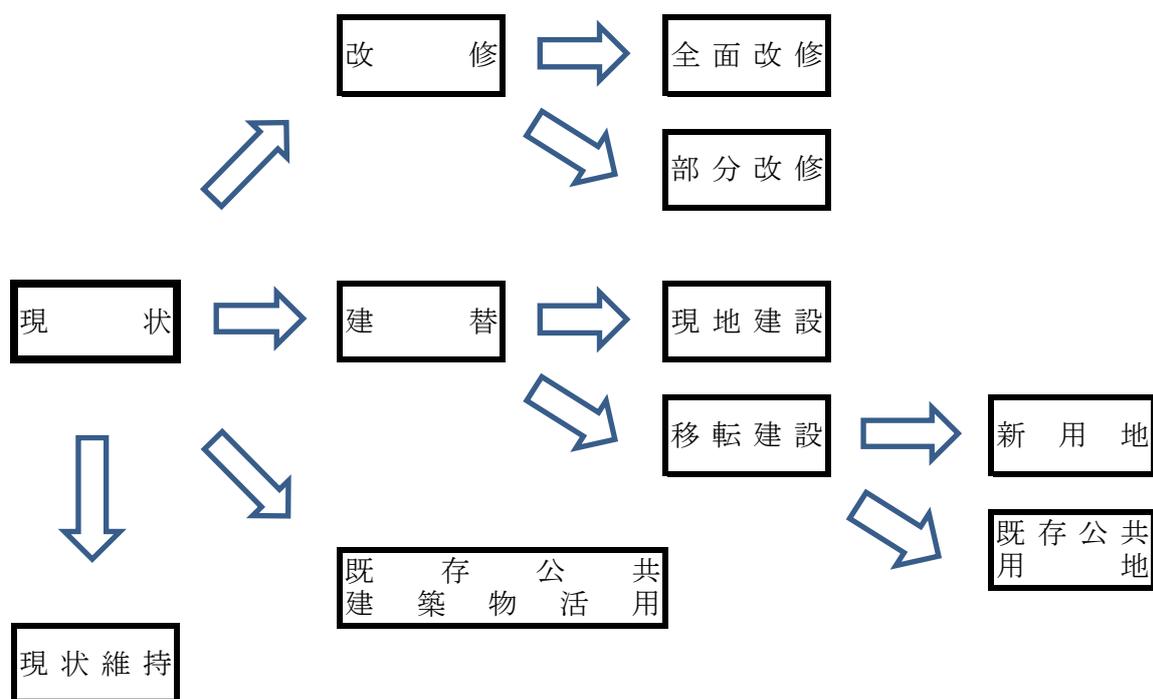


資料3-①

☆ 今後の市役所庁舎の在り方について

【 一般的な庁舎整備の選択肢 】



☆ 意見の例

- 現状維持** 「現在の庁舎にお金をかける必要はない。他の目的に使うべきでは。」
- 改修** 「現在の庁舎を再利用して全面的に改修するべき。」
「現在の庁舎を再利用して必要な部分だけ改修するべき。」
- 建替** 「現在の庁舎を取り壊し、同じ場所で新築するべき。」
「現在の庁舎を取り壊し、別な場所を取得して新築するべき。」
「現在の庁舎を取り壊し、他の市有地に新築するべき。」
- 既存公共建築物活用** 「現在ある建物(公民館など)を活用して市役所を移転するべき。」

☆ 参考データ

【 砂川市の人口推計(人) 】

※国立社会保障人口問題研究所『日本の市区町村別将来推計人口』より

2020年	2025年	2030年	2035年
16,567	15,244	13,919	12,630

【 砂川市職員人数の推移(人) 】 ※一般行政・教育部門の普通会計分

2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
170	164	167	169	170	169

【 市民の来庁頻度低下の予想要因 】

- 電子申請の普及
- マイナンバー制度の普及